

ロシアの新しい状況における脱炭素化と持続可能な開発目標の展望(要旨)

欧州森林研究所首席研究員・持続可能な市場・社会部門長
ゲオルギー・サフォーノフ

広大な天然資源、広大な領土、充実した人的資本、国際的な広範なつながりで有名なロシアは、歴史的に世界経済において注目すべき地位を占めてきた。しかし、2022年2月以降、ビジネス・ボイコット、投資家の撤退、その他の懲罰的措置など、欧米の制裁措置や同盟国の行動によって、ロシアは社会経済的に大きな転換を余儀なくされている。新たな開発状況は、経済の軍事化、民間部門からの国家財政の方向転換、技術劣化、労働力不足の深刻化、インフレ期待の高まりなど、懸念すべき傾向をもたらしている。持続可能な開発、脱炭素化、エネルギー効率の改善、グリーン技術への転換を目指した政策は、ここ数十年、ほとんど効果を上げていない。気候変動緩和策は、社会的、経済的、環境的に大きな利益をもたらす可能性を秘めているが、ロシアでは当面達成できないかもしれない。

キーワード: 計画政策、環境と開発、持続可能性、気候、地球温暖化

JELコード: O210, Q56, Q540